

テクノビューティーサプライ

特化型

さっぱり感と保湿感を両立した石けん
肌への負担を軽減したいニーズに対応

テクノビューティーサプライは、40年以上にわたる化粧品づくりのノウハウを活かし、高い技術力と提案力を強みとしている。遠藤真人代表取締役は、「誰にでも受け入れられる製品だけでなく、特定のニーズに応える製品づくり」を重視していると語る。

——近年の化粧品市場

における「万能型」と「特化型」商品の動向をどのように見えていますか。

遠藤 生活者は「1つの商品で手軽に済ませたい」という万能型志向と「自分の悩みに特化したケアをしたい」という特化型志向の両方のニーズを持っているが、現在は特定の悩みや部位に焦点



遠藤 社長

を当てた特化型商品のニーズが高まっていると感じている。

へアケア市場においても、こうした特化型商品の動きは顕著だ。シャンプーやトリートメントといった基本的なケアに加え、アウトバストリートメントやプレシャンプーなど、使用シーンや目的を細分化したアイテムが増加している。

——貴社が取り組んで

いる処方の中で、「万能感と保湿感を両立させた型」「特化型」に当っては弱アルカリ性の新しい石けんを開発した。エタノールを使用しないため、乾燥工程を短縮でき、小ロット・短納期に対応することができるとも特長だ。

遠藤 当社がこれまで手掛けてきた石けんは、保湿感に優れる反面、崩れやすく泡立ちにくいという課題があった。

そこで今回、泡立ちの良さと型崩れにくさを表現し、さらにさっぱり

感と保湿感を両立させたムタイプと比べて肌への負担が少なく、「洗いつぎて肌がつっぱる」といった特定の悩みを持つ生活者に適している。

形状を薄くすることで、メール便にも対応可能であり、小ロットで通信販売などを検討している顧客に向けて、今後提案を強化していきたい。